

天文教育

2022

9

*Publications of the Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy
(PJSEPA)*



＜投稿＞星座の神話とどう向き合うか ～現存最古の星座図鑑『カステリスモイ』～／3 人の小さな解説員 ～プラネタリウム解説員体験講座の紹介～／文久三年（1863 年）の天体観望会 補足

＜報告＞一般普及分野オンライン談話会『星座の神話とどう向き合うか』開催報告

＜その他＞若手奨励賞の募集について ほか

一般社団法人 日本天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。
なお原稿の投稿は、編集部から依頼した場合を除き、原則として当会会員の方に限らせていただきます（共同執筆者に会員を含む場合はこの限りではありませんが、投稿は会員の方からお願いいたします）。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクト（要旨）には英文も付けてください（英文は審査通過後に追加可）。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事や、さまざまな天文教育や社会教育などの実践記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1～2ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただきます場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**：1は随時受け付け、2～7は偶数月（発行の前月）15日です。投稿先は post@tenkyo.net です。

・本誌に掲載された記事（上記1～6および7の一部）は、当会 Web サイトにて pdf ファイルの形で一般に公開いたします。インターネットでの公開に差し障りのある場合は、ご投稿の際にその旨ご連絡ください。

・**広告掲載**を希望される方は事務局（jimu@tenkyo.net）までお申込みください。掲載料は B5 判 1 ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4 ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますようお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則として Microsoft Word ファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートが当会 Web サイト（<https://tenkyo.net/>）からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします。執筆上の留意点なども記しています。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word 以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net

表紙の言葉

アルテミスとオリオン

2018 年 9 月 06 日 03h25m, Canon EOS5D MkIV, AF-S NIKKOR 14-24mm f/2.8G ED(20 ㎜, F=2.8), ISO6400、15 秒露出、撮影地：カヤの平（長野県木島平村）

撮影・解説：大西浩次

2022 年秋、NASA のアルテミス 1 号が宇宙船オリオンを搭載して打ち上げられる。NASA のアルテミス計画は、1960 年代のアポロ計画以来、約 50 年ぶりに再開する有人月面着陸や月周回有人拠点（Gateway）建設、将来の火星有人探査を目指している。このために開発された巨大な SLS ロケットの 1 号機がアルテミス 1 号である。

ところで、アルテミスは、ギリシア神話では月の女神であり、太陽神のアポロはアルテミスの双子の弟にあたる。このアルテミスは狩猟の女神でもあった。そんな彼女が、狩人オリオンと恋仲になったのは必然だ

ったかもしれない。しかし、そこに悲劇が起きる。乱暴なオリオンを快く思わない弟のアポロは、悪事をたくらむ。さそりを使ってオリオンを海の中に逃げ込ませた。そうして、遠い海の中にいるオリオンを的に、アルテミスに弓矢を引かせてしまったのだ。この矢が当たりオリオンが死んでしまう。悲しむアルテミスの声に、ゼウスが星座として天に上げたのだという。そして、毎回、月がオリオンの近くを通過するようになったとか。

こんな神話を思いながら空を見上げると、確かにオリオンを恋焦がれる月が光芒を伴い輝いていた。こんな光景が神話になったのであろう。アルテミス（SLS ロケット）に載せたオリオン（宇宙船）、悲劇にならず、無事に打ち上がってほしいものである。これからの宇宙開発のためにも、そうして、これをきっかけに、子供たちを含む多くの人に天文や宇宙への興味関心を持って貰うためにも。